

冬まつり行事

①比内とりの市

28回目の「比内とりの市」は、1月21日、22日の両日、比内グラウンドを主会場に開催されました。

「比内鶏ダービー」や「千羽焼き」などのイベントのほか、今年はミニSSLの運行や米粉麵の試食会などが行われた会場には市内の住民だけでなく首都圏や被災地からのモニターツアー客も訪れ、約4万人の来場者でにぎわいました。

②大館アメッコ市

2月11日と12日の2日間、おおまちハチ公通りを主会場に大館アメッコ市が開催されました。

110店舗が軒を連ねる中、白髭大神巡行、秋田犬パレードなどのイベントや市内小学生による出店などが行われました。会場には弘前市からの500人規模のツアーを初め、JR東日本が企画する「駅からハイキング」、首都圏からのモニターツアーによる観光客も訪れるなど、約10万5千人の来場者でにぎわいました。



比内鶏ダービー

再生可能エネルギー

市では、木質バイオマスの活用を図るため、本年度新たに公共施設にペレットストーブ9台を導入しました。

また、ペレットストーブ設置費補助金事業で民間にペレットストーブ20台が設置され、市内でのペレットストーブ設置台数は、149台となりました。

また国の基金を活用し、平成24年度から4年間で防災拠点施設や避難所となる公民館、小・中学校に太陽光発電システムを設置し、緊急時や災害時の電力を確保する予定であり、総事業費は約4億5千万円となる見込みです。

真崎文庫のデジタルデータ化と安藤昌益の墓の県史跡指定

「真崎文庫」は明治時代の郷土史研究家、真崎勇助が収集した古文書資料で、昭和26年に栗盛教育団から本市に寄贈され、中央図書館が所蔵、管理しています。

その中の菅江真澄の著作46点は、貴重な民俗資料として県有形文化財に指定されており、その他の資料は全て市指定有形文化財です。市では、これらの原本を保存し、その活用を図るために資料のデジタルデータ化を進め、4月からは中央図書館内のパソコンで常時閲覧可能とするほか、菅江真澄の著作は3月1日から市のホームページに掲載しています。

また、2月10日には県文化財保護審議会から県教育委員会に対し、二井田温泉寺にある安藤昌益の墓を県史跡に指定するよう答申があり、正式に指定された際は昌益関連の諸資料と併せ、広く顕彰に努めたいと考えています。

新十二所公民館供用開始

公民館施設の更新計画に基づく十二所公民館の移転改築工事が完了し、2月20日から新公民館及び出張所として業務を開始しました。



成章書院をイメージした外観に、バリアフリー、ペレットストーブ、秋田杉材の多用などが特徴の新公民館は、生涯学習や防災等に様々な機能を提供できると考えています。

第5期介護保険事業計画

24年度から3カ年の第5期計画では、高齢化の進行などで引き続き介護給付費の増加を見込んでいます。

介護保険料は、負担能力に応じて所得段階区分を細分化するとともに、県の財政安定化基金交付金の充当や市の介護給付費準備基金の取り崩しにより、給付費の増加に伴う保険料の上昇を抑えています。

結果、前期計画と比べ保険給付総額を17・3%増の約264億円と見込み、保険料の基準月額を19・8%、額にして867円増の5239円に設定しています。

医療費等の

クレジットカード支払い

総合病院と扇田病院では、入院、外来、人間ドックなどの診療費をクレジットカードで支払えるよう加盟店契約を締結し、4月2日から取り扱いを開始します。

利用可能なカードは、VISA、MasterCard、JCB、DCなどです。今後も市立病院を利用するための利便性向上とサービスの充実に努めます。

そのほかの報告

- ・日本海沿岸東北自動車道の整備状況
- ・道路の整備状況
- ・光フロードバンド整備事業
- ・農業者戸別所得補償制度への取り組み
- ・耕作放棄地対策への取り組み
- ・農業農村整備事業の状況
- ・林業振興事業の状況
- ・養豚企業の誘致
- ・温暖化対策事業
- ・東日本大震災への対応
- ・水道施設の整備状況
- ・公共下水道の整備状況
- ・小・中学校の耐震対策事業